

(様式2)新規評価シート

建設部

道路建設課

事業種類	主要な道路の整備		事業名	県単道路改築				
市町村名	上田市	ふりがな 箇所名	いち かみむろが さかき てい せん (一)上室賀坂城(停)線	なかぐみ 中組	事業年度 (完了年度は見込み)	H26 年度～	H27 年度	
事業概要	区分	事業内容		事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	全体	待避所設置工 N=2箇所		10,000	国庫	その他	県債	一般財源
	H26年度	測量設計、用地測量、用地買収 1式		6,500			5,850	650
箇所評価	区分	評価項目・指標等	評価区分		①得点	②重み 係数	③評点 (①×②)	
	必要性	計画交通量	<input type="checkbox"/> 4,000台/日以上	<input type="checkbox"/> 1,500台以上～ 4,000台/日未満	<input checked="" type="checkbox"/> 1,500台未満	0	0.3	14
		代替道路	<input checked="" type="checkbox"/> 唯一の道路である	<input type="checkbox"/> 代替となる道路がある		15		
		ネットワーク (道路網)	<input type="checkbox"/> バス路線である	<input checked="" type="checkbox"/> 駅やICなどに通じる または 役場と交通 結節点や支所などを 結ぶ路線	<input type="checkbox"/> 左記に該当しない	10		
			<input checked="" type="checkbox"/> ボトルネック箇所	<input type="checkbox"/> ボトルネック箇所 でない		10		
			<input type="checkbox"/> 観光地に通じる道路	<input checked="" type="checkbox"/> 観光地に通じる道路 ではない		0		
		各事業特有の必要性 (安全の確保)	4.0m未満又は30m 未満又は8%以上 (幅員、半径、勾配)	<input type="checkbox"/> 4.0m以上5.5m未満 (幅員)	<input type="checkbox"/> 5.5m以上(幅員)	10		
	自動車と自転車・ 歩行者との分離を 図る		<input type="checkbox"/> 歩道はあるが不十分 であるものを再整備	<input checked="" type="checkbox"/> 自動車と自転車・ 歩行者との分離が なされていない	0			
	小 計					45		
	重要性	設計上の環境・景観配慮	<input checked="" type="checkbox"/> 環境・景観配慮が され確実性が高い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮が されているが確実性 が低い	<input type="checkbox"/> 環境・景観配慮をして いない	50	0.1	8
地域の法的な位置付け		<input type="checkbox"/> 緊急輸送路(1次)に 位置付けられている	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送路(2次)又は、 振興山村、積雪地域、 過疎地域、地震防災 対策強化地域、観光 圏整備実施計画認定 地域に位置付けられて いる	<input type="checkbox"/> 特別な位置づけは ない	30			
小 計					80			
効率性	費用対効果	<input checked="" type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0以上	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満 (3便益以外の観点から 一定の効果を得られる)	<input type="checkbox"/> B/C(3便益)1.0未満	25	0.2	20	
	事業効果の早期発現 (事業期間)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業年数 3年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 4年～5年以内	<input type="checkbox"/> 事業年数 6年以上	40			
	コスト削減	全体的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。	部分的に構造物・ 規格等についてコスト 削減を実施している。	<input type="checkbox"/> コスト削減はしていない	35			
	小 計							100
緊急性	安全性の向上	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険箇所の安全を向 上させる	<input type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険箇所指定はない が安全を向上させる	<input checked="" type="checkbox"/> 交通事故や落石等の 危険がない	0	0.2	6	
	各事業特有の緊急性 (医療・福祉)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (ネック箇所の解消)	<input checked="" type="checkbox"/> 医療・福祉の連携が 発揮できる道路 (円滑化が図れる)	<input type="checkbox"/> 医療・福祉の連携に 関係ない道路	30			
	小 計							30
計画 熟度	地域からの要望	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の内発的な 要望が強い	<input type="checkbox"/> 市町村からの要望	<input type="checkbox"/> 特に要望がない	35	0.2	18	
	事業情報の共有	<input type="checkbox"/> 広く一般に周知	<input checked="" type="checkbox"/> 関係者中心に周知	<input type="checkbox"/> 特に周知していない	25			
	住民参加の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 住民が計画策定に 直接参加	<input type="checkbox"/> 住民や市町村の意見 を計画策定に反映	<input type="checkbox"/> 特に住民意見は反映 していない	30			
	小 計							90
費用対効果(B/C)		2.2	評価の合計				66	
事業 周 辺 環 境	事業実施に至る歴史 的経緯・社会的背景	当路線は、上田市室賀地域と坂城町を連絡する道路であるが、現道は幅員狭小で線形が悪く、自動車のすれ違いに支障をきたしている。峠部の 局部改良はH25年度に完成し、事業効果を発現した。人家連担部については待避所整備をすることで、生活道路としての安全確保を図りたい。						
	地域からの要望経緯	毎年、川西自治会連合会、期成同盟会等から要望が出されている。						
	事業説明等の経緯	かつては集落を迂回するバイパス計画があったが、H24年度に現道対策(待避所整備)する方針を決定。						
	環境・景観への配慮 項目	現道を活用した待避所整備をすることで、地域コミュニティの存続を図る。構造物でなく、土羽構造による緑化を図り周辺環境に配慮。						
	他事業・プロジェクトと の関連	特になし。						
	特記事項	待避所整備であるため、地元自治会と協働して計画策定を行っていきたい。						
地域での合意形成	<input type="checkbox"/> 全員賛成	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね賛成	<input type="checkbox"/> 過半数賛成	<input type="checkbox"/> 動向不明				
部意見	地元要望が強く、生活道路の安全確保を図る必要があるため、平成26年度 から事業化したい。			行政改革課 意見	重要性が認められる。			